



甲状腺手術における術後出血の解析

2011年1月1日から2023年12月31日までに日本医科大学付属病院内分泌外科で甲状腺疾患（良性または悪性）のため手術をうけられた患者さん

研究協力をお願い

当科では「甲状腺手術における術後出血の解析」という研究を倫理委員会の承認並びに院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、2011年1月1日より2023年12月31日までに日本医科大学付属病院内分泌外科にて、甲状腺疾患（良性または悪性）のために手術を受けられた患者さんの術後出血の原因と経過を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただく前に、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：甲状腺手術における術後出血の解析

研究期間：研究実施許可日～2025年12月31日

研究責任者：日本医科大学付属病院 内分泌外科 助教・医員 齋藤 麻梨恵

(2) 研究の意義、目的について

甲状腺手術の合併症のひとつに術後出血があります。この術後出血は血腫や喉頭浮腫により気道狭窄を引き起こし窒息や心停止など致命的な経過をもたらす可能性がある重大な合併症です。術後出血の原因やリスク因子（年齢、性別、合併症、診断、手術方法）、効果的な予防法や対策を明らかにすることを目的とします。また当院は甲状腺内視鏡手術も多く行っており、この内視鏡手術における出血リスクや通常法（頸部に皮膚切開をおく手術方法）との違いについても明らかにすることを目的とします。この研究結果により手術の安全性をより高め、安心して手術を受けられることを目指します。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2011年1月1日から2023年12月31日までに日本医科大学付属病院内分泌外科にて、良性と悪性を問わず甲状腺疾患に対し手術を受けられた患者さんの臨床データを後ろ向き解析し、術後出血のリスク因子や出血部位についての検討を行います。頸部郭清術と生検は除きます。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：年齢、性別、既往歴、血液検査所見、手術方法、術前診断、術後出血の状況（時間、出血源、症状）等

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 内分泌外科 助教・医員 齋藤 麻梨恵

〒113-8603 東京都文京区千駄木1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：6799

メールアドレス：s-marie@nms.ac.jp